

# たかけい学報

高経大生の  
キャンパスライフを  
サポートする情報誌

The Bulletin of Takasaki City University of Economics



特集  
p.1-4

## 国際学科1期生に聞く!

p.5-6 卒業生インタビュー

p.7-8 研究室紹介

p.9 学生クローズアップ

p.10 留学体験記

p.11-12 研究者からみたコロナ禍の現在

p.13 鶴鷹祭/三扇祭

p.14-15 たかけいINFORMATION

no.104

# 国際学科1期生座談会

2017年4月に、国内外のグローバル化する経済・経営の分野で活躍できる人材の育成を目的として、経済学部誕生した国際学科。今年度初めての卒業生となる1期生の中から4人の皆さんと国際学科長野崎教授にお集まりいただき、国際学科の学びや魅力、海外研修や就職活動などについて話していただきました。



**野崎:**国際学科に興味を持つようになったきっかけや志望した理由は何か。

**遠藤:**グローバル時代の到来によって、英語の重要性が上がったことで、これからは英語力が必要だと感じていました。国際学科は、経済学と経営学を分野横断的に学ぶことができることや、他学科よりも海外研修の助成金が充実していることとても魅力を感じました。私も国際学科で、英語力を伸ばし、異文化理解を深めたいと思いました。

**鈴木:**国際学科には大学入試前から興味があり、大学選びの理由の一つになりました。高校での短期留学をきっかけに国際協力に興味を持ち、大学では経済や国際について学びたいと考えていました。高経大に入学後も他の学科と比較して、やはり、国際協力についてより深く学ぶためには国際学科が最善であると考え、志望しました。



**鈴木 冨佳** (黒崎龍悟ゼミ)  
福島県・桜の聖母学院高等学校出身  
海外研修先  
ニュージーランド・オークランド(国際学科短期語学研修)  
フィリピン(海外インターンシップ)  
タンザニア(海外フィールドワーク)

**野崎:**国際学科プログラムの短期語学研修に参加した理由や感想を教えてください。

**遠藤:**大学時代にいろいろなことを経験したいと思っていて、その一つとして海外留学を考えていました。短期語学研修費用は、大学からの助成金と1年次からコツコツ貯めてきたアルバイト代で賄いました。研修に参加して、語学力向上はもちろんのこと、失敗を恐れず挑戦する力が身につきました。また、日本の良さを改めて認識するとともに、地球環境に対する認識の薄さなど日本全体の課題を知ることもできました。

**上村:**研修先がたくさんあり、自分の行きたい国を選択できたこと、大学からの助成金がもらえるので参加しやすい環境だったということも理由の一つでした。私はバスケットボールが好きなので、本場のNBAも見たいと思い、アメリカのシアトルを選びました。海外では、当たり前ですが英語を話さざるを得ない状況だったので、とにかく英語でチャレンジ、失敗の繰り返しでしたが、そのおかげで失敗を恐れない勇気やどんなことでもとにかくやってみる積極性が身につきました。



**上村 徹** (野崎謙二ゼミ)  
埼玉県・さいたま市立大宮北高等学校出身  
海外研修先  
アメリカ・シアトル(国際学科短期語学研修)  
タイ、ミャンマー(海外フィールドワーク)  
ラオス(海外フィールドワーク)

国際学科長 **野崎 謙二** 教授

経歴  
名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了  
経済企画庁(2001年1月より内閣府)入庁後、経済分析、  
経済政策等を担当  
1997年~2000年に在タイ日本国大使館一等書記官として従事  
名古屋大学大学院経済学研究科教授、駿河大学経済経営学部教授を経て、現職

**野崎:**国際学科に入るにあたり、不安だったことはありましたか。

**大久保:**英語だけで行う授業があると聞いていたので、ついていけるか不安でしたが、先生がわかりやすいよう工夫してくださったり、私たちの理解度にあわせて進めてくださったので、今は英語が得意じゃなくてもそんなに心配いらなと思っています。

**鈴木:**前例がない分不安はありましたが、どちらかといえば楽しみの方が上回っていました。英語での授業は、友達とも協力しながら授業に取り組み、充実した時間を過ごせました。



**遠藤 祐奈** (佐藤敦子ゼミ)  
埼玉県立熊谷女子高等学校出身  
海外研修先  
オーストラリア・シドニー(国際学科短期語学研修)  
タイ、ベトナム(海外フィールドワーク)

**野崎:**国際学科の魅力はどういうところですか。

**大久保:**英語を勉強したい人にとっては、授業を利用して自身にあった学習環境を作ることができます。また、少人数の授業が多いので、自然と友人も増え、いい出会いがたくさんあったなと思います。

**鈴木:**経済や経営について学べる一方で、国際について広く詳しく勉強できることです。また海外研修の助成金が充実しているので、取り組みやすいといった点で、本当に国際学科に入ってよかったと考えています。

**上村:**日本にはできない経験が沢山できるところだと思います。日本では当たり前なのが外国では通用しなかったり、日本では見ることができない光景が現地で見られたりと、日常とはかけ離れた不思議で楽しい時間を過ごすことができます。そんなチャンスが開けているところに国際学科の魅力があると思います。また、ゼミの人数は多くて9人なので、先生の目が行き届きやすく、就職活動などでも親身に相談に乗ってもらいました。



**野崎:**後輩たちにメッセージをお願いします。

**遠藤:**大学生活の4年間でできるだけ多くのことに触れ、自分の興味があることや好きなこと、これなら誰にも負けないという何かを見つけてみてください。

**大久保:**全力でいろんなことに挑戦しましょう。国際学科では切磋琢磨できる友人、魅力ある先生がたくさんいて、刺激を受けられます。

**上村:**国際学科は留学制度やフィールドワーク、セミナーといったキャリア形成のための機会や、全国から集まる学生による新たな出会いが大いにあります。それらを有効活用して、大学での4年間で様々なことを学び、経験して、皆さんの新たな一歩を踏み出していきましょう。

**鈴木:**私は高経大の国際学科で勉強できたからこそ、将来的な目標を定めたり、それに向けた経験をすることができたのだと考えています。ぜひ皆さんも、たくさんの挑戦や経験をして、実りある大学生活を送ってください。



**野崎:**皆さんが国際学科で多くの経験をしてきたことがよくわかりました。特に海外での活動で成長してくれたことは私たち教員にとっても嬉しいことです。皆さんには国際学科の1期生として、国際学科を作っていくという意気込みを感じていました。今後は社会に出て活躍されるとともに、後輩たちに力添えいただければと思います。本日はどうも有難うございました。

**野崎:**次に、海外フィールドワーク、インターンシップに参加した感想を教えてください。

**遠藤:**私は、ゼミのフィールドワークで、タイ・ベトナムの日系企業や現地企業の視察に行きました。日本企業が海外進出をする際には、文化・言語・国民性等多くの壁があり、実際に現地でも働く日本人の方に、現地人材の管理や育成の難しさについてお聞きすることができました。実際に目を見て、話を聞いて感じるということは勉強になりました。

**鈴木:**私は、フィリピン(セブ島)でNGOにインターンシップとして参加しました。NGOの仕事を体験できたことで、私自身が今後何について考え、どう働いていきたいのかを考えるための、貴重な時間になりました。



**大久保 憲汰** (清水さゆりゼミ)  
新潟県立長岡高等学校出身  
海外研修先  
アメリカ・シアトル(国際学科短期語学研修)  
タイ、ベトナム(海外フィールドワーク)

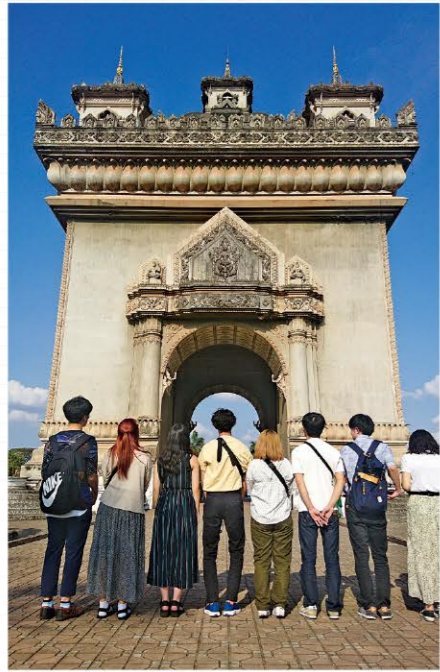
**野崎:**就職活動についてお聞きします。就職先の企業や、その職種を志望したきっかけや動機、理由を教えてください。海外研修が進路にどのような影響をもたらしたと思いますか。

**遠藤:**私は、システムエンジニアとして働く予定です。海外フィールドワークで発展途上国を訪れた経験から、私たち日本人がいかに恵まれた生活をしているのを知り、世界中全ての人の豊かな生活の実現に寄与したいと思うようになりました。

**上村:**私は公務員に内定をもらっています。国際学科とのつながりはあまりないかもしれませんが、語学力を上げるための努力を評価してもらえたのかなと思います。国際学科での経験を活かせる公務員になりたいです。



# 国際学科1期生 大解剖!!

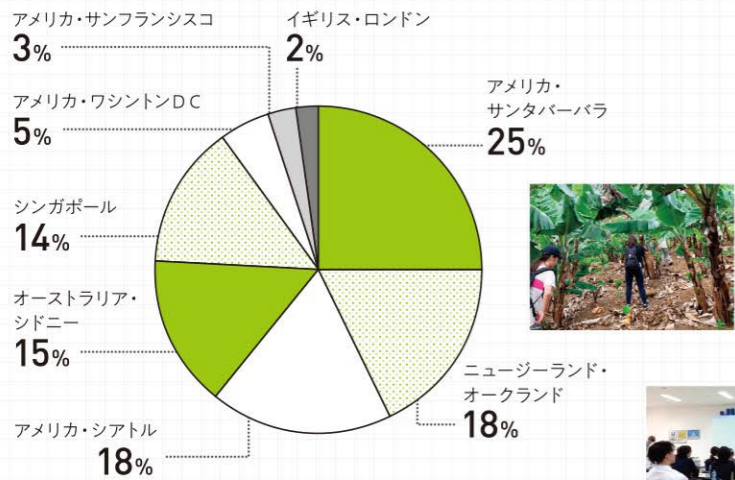


## Q 国際学科の魅力とは?

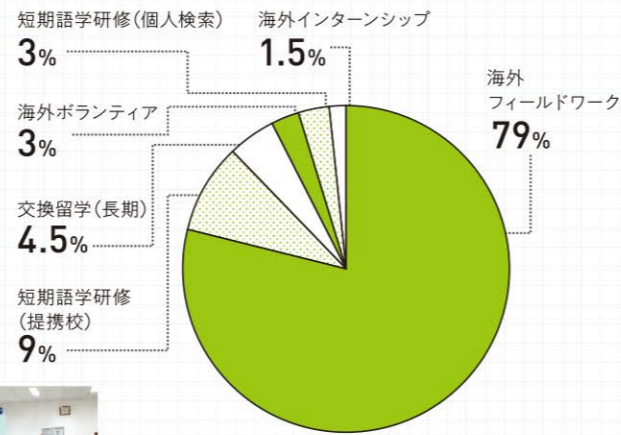
- キャラが濃くて、優しい素敵な先生が多い。
- 「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」ことができる。
- 経済・経営についても学べ、さらに国際についても学べる。
- 留学や海外フィールドワークに助成金がたくさん出て助かった。
- ゼミの先生は親身に相談に乗ってくれりし、他のゼミの先生とも気軽に話ができる。
- 少人数ゼミなので、ゼミ生と仲良くなりやすい。先生との距離も近く、濃く関われる。
- ボランティアでもフィールドワークでも両方単位がもらえた。経済も経営も学べる。先生方のバックグラウンドが面白い。
- 十分に整った留学制度やゼミの海外フィールドワーク、英語を使った授業など、海外や英語に興味がある人にたくさんの学べるきっかけを与えてくれる。



## Q 短期語学研修(国際学科プログラム)はどこに行きましたか?



## Q 他に参加した海外研修は何ですか?



## ✈ 海外に持って行ってよかったもの

### せんべいや梅干しなどのしょっぱいお菓子

クッキーやチョコなど甘いものは手に入りやすいけれど、しょっぱいモノはなかなか手に入らないから。



折り紙、扇子、ケン玉、紙風船、ダルマなどの日本の伝統的・文化的なものが話のネタになる。興味を持ってもらえる。

### 日本らしいフレーバー(抹茶など)の個包装の飴

トイレを借りた時にチップ代わりに渡したり、現地の子供にあげたらすごく喜ばれた。

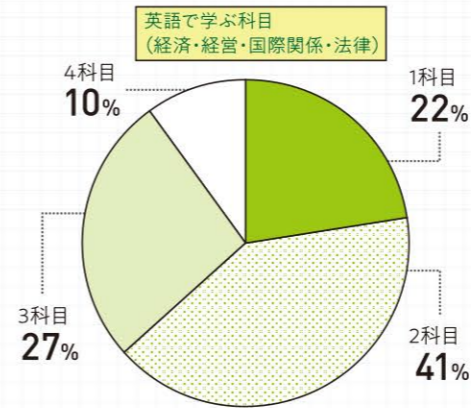


エコバッグ  
買い物の時レジ袋はもらえないから。



国際学科専門科目第2群(国際系基礎)は、国際社会に参加し、ビジネスその他で活躍するために必要なスキルを身につけるための科目が揃っています。具体的には、専門内容を英語で学ぶ科目と、コミュニケーションのための英語スキル及び国際感覚を身につけるための海外研修等(単位認定科目)です。第2群から10単位修得します。

## Q 英語で学ぶ講義科目(経済、経営、国際関係、法律)を何科目受講しましたか?



## Q TOEICスコアはどれくらい伸びましたか?

	留学前	留学後
Aさん	405	725
Bさん	475	590
Cさん	540	665
Dさん	560	745
Eさん	690	835



第2群(国際系基礎科目)	英語で学ぶ科目(経済・経営・国際関係・法律)	Introductory Economics Introductory Management	Introductory International Relations Introductory Legal Systems
	英語でのディスカッションやプレゼンテーション能力を高める科目	World Issues I World Issues II	Critical Thinking I Critical Thinking II Pick up授業/
	一定のスコアをクリアすると単位認定	TOEIC Advanced TOEFL Advanced	
	単位認定科目	海外語学研修(専門) 海外フィールドワーク	海外ボランティア 海外インターンシップ



国際学科  
バフトン ニコラス教授

## Pick up授業 / Critical Thinking I・II

### WHAT IS CRITICAL THINKING and why is useful in your career?

批判的思考とは何ですか、それがなぜあなたのキャリアに役立つのですか?いわゆる「フェイクニュース」が混在するこの時代、批判的分析の能力は大変重要です。批判的思考とは、物事を合理的かつ個別に情報を分析する能力です。批判的思考コース1と2は、次のことを理解するのに役立つように設計されています。

- ・アイデア間のリンクを理解します。
- ・議論を構築し評価します。
- ・推論の誤りを特定します。
- ・討論の中でアイデアの関連性と重要性を判断します。
- ・問題を分析および評価します。
- ・総合的な判断を下します。

以上を理解することで、教室や職場の問題をよりよく解決できるようになります。雇用主は、問題について批判的に考えるだけでなく、解決策を見つけることができる人間を求めています。批判的思考はすべての偏見を脇に置き、冷酷な事実を調べるのに役立ちます。複雑なつながりを作り、論理的な結論に導きます。最後に、批判的思考はあなたのコミュニケーションスキルを向上させ、あなたがチームの一員としてうまく働ける助けにもなります。

## Q 気になる進路は?

商社、物流、人材紹介・人材派遣、公務員、情報処理・ソフトウェア など  
経済学部が多くの就職する業種にもちゃんと内定をもらっていますが、国際学科らしい業種にも多く内定をもらっています。(国際学科長 野崎教授)

## 1期生おすすめ海外スポット /



# 卒業生インタビュー

Graduate interview



- Q1. 高崎市の率直な印象
- Q2. 高崎周辺おすすめグルメ
- Q3. 大学生活一番の思い出
- Q4. 後輩に向けて



経済学部 経済学科 亀井 涼雅

**私**は高崎経済大学に入って多くの学びを得ることができました。4年間で様々な人と交流しさまざまな考え方に触れたことは、これからの私の人生を豊かにすると思っています。

大学では自ら考え能動的に行動することが重要であると感じました。例えば講義の受け方ひとつとっても、目的をもって講義を受けることで楽しくなると感じます。私が経済学部に入学した当初は、どんな分野がありどのように勉強していくのかよくわからない状態でした。しかし、分野のつながりや実際に使われている例を知ることによって、より有意義に講義を受けることができました。具体的には、図書館の本を利用しました。自分の興味のあるところだけ読んで、難しいところは飛ばしたり、あるいは背表紙と目次だけ見てみたりしてもいいと思います。昔読んだとき全くわからなかったものが理解できるようになると楽しいです。

特に、データ分析には力を入れて学習しました。近年、AIやビッグデータなどの言葉を耳にする機会が増えました。経済

学部は、データのリテラシーを身に付けるには良い学部だと思います。実際に、計量経済学で学ぶ「線形回帰」は機械学習の手法の一つであり、AIを使った予測と謳われているものの中にはこの手法を使っているものがあります。私はデータ分析のスキルは重要になると考え、関連した講義を受けることにしました。それがきっかけでデータ分析の面白さに気づき、独学で統計検定やディープラーニングの資格を取得することができました。大学入学当初は想像できませんでした。結果的にはデータ分析にかかわる会社の内定をいただくことができました。

また、大学4年間で群馬県で過ごしたことはとても良い思い出になりました。趣味のドライブでは、多くの山を有する群馬県の自然を楽しむことができました。私は山形県出身ですが、群馬に住むことで地元の良さに気づくとともに第二の故郷ができたように感じています。就職は東京になりますが、この4年間で得た経験や出会いを大切にしていきたいです。



木村 勇斗

経済学部  
山形県立山形南  
高等学校出身

- A1…… 警察との遭遇率が高すぎる。だから安心!
- A2…… 承太郎(計なし)
- A3…… ポーランドへの交換留学・エンカレッジの活動
- A4…… 失敗しすぎて。無限に失敗できるのは学生のうちだけです。遊び、部活・サークル、留学、すべてに全力で取り組める経大生になれたらマジかっけえです。



森岡 ひなた

経済学部  
鹿児島県立大島  
高等学校出身

- A1…… 住むにはちょうど良い
- A2…… パンビーナ(パスタ)
- A3…… ゼミやサークルで誕生日にサプライズをしてもらった
- A4…… 思い立ったら即行動で、学生生活を一杯楽しんでください。



沢田 大河

経済学部  
群馬県立高崎  
高等学校出身

- A1…… 暮らしやすい程よい田舎(車ありの場合)
- A2…… 荒磯(居酒屋)
- A3…… 四国までドライブしたこと。
- A4…… 「いや、無理だよ」って思った時の9割は無理じゃない!なんとかなる(はず)笑。



宮越 愛梨

経済学部  
長野県上田東  
高等学校出身

- A1…… 風が強い
- A2…… ぱりきや(ラーメン)
- A3…… 年末年始をバイトに捧げたこと
- A4…… 何事にも積極的に取り組んでください!



富永 寛之

経済学部  
静岡県・静岡学園  
高等学校出身

- A1…… 夏は暑く・冬は寒い
- A2…… 栄寿亭(かつ丼)
- A3…… かけがえのない仲間、温かい教員・職員・地域の方と出会えたこと
- A4…… Enriching your lives and the world !!



八木 淳太

経済学部  
宮城県石巻西  
高等学校出身

- A1…… 夏が暑すぎる
- A2…… 小嶋食堂(定食)
- A3…… 成人式の1週間前に盲腸になり、入院したこと
- A4…… 楽しいこと辛いこと沢山ありますが、最後に笑って卒業できるように「何事にも全力で!!」



小川 哲平

経済学部  
千葉県立柏  
高等学校出身

- A1…… 車がないとしんどい
- A2…… GGC 高崎本店(ステーキ)
- A3…… 友達と過ごした日々
- A4…… 悔いのない大学生活を過ごしてください!



古川 大致

地域政策学部  
東京都・桜美林  
高等学校出身

- A1…… 車があればとても住みやすい
- A2…… フライイングガーデン(ハンバーグ)
- A3…… 部活動を通して仲間と切磋琢磨できたこと
- A4…… たくさんの友達を作って、やりたいことにチャレンジしていきましょう!全力でやり切ったと思える大学4年間にしたいです。



鈴木 桃果

地域政策学部  
群馬県立桐生女子  
高等学校出身

- A1…… 都会っぽい
- A2…… 電庵(そば)
- A3…… 三層祭のステージで踊ったこと
- A4…… いろんな面で自由だからこそ、様々なことに時間を使っているような経験をして見てください!思いやりと楽しむ心を忘れずに♪

# 「問題の本質を見極めよう」

## 1 教員プロフィール

生まれは東京で、父の転勤で新潟に6年間、富山に4年間、幼稚園から小学校の期間を過ごしました。祖父母が東京にいたので毎年春休みの1週間ほど東京に滞在していましたが、その行き帰りに信越線の窓から見た山の上の白い観音様と、車内で食べただま弁当や峠の釜めしが私の最初の高崎の印象だと思います。その後横浜に引っ越して中学、高校、大学に通いました。

早稲田大学工学部を卒業、同大学院理工学研究科博士課程単位取得退学後、早稲田大学理工学部助手、同大メディアネットワークセンター助教を経て2014年より本学に勤務しています。

趣味は読書、音楽鑑賞、散歩、ピクニック、小旅行です。いろいろなところをぶらぶら歩きながらちょっとした発見をすることに喜びを感じます。高崎に勤務するようになってからは、本を持って周辺の温泉地に籠もって過ごす時間も楽しみのひとつになりました。



**石田 崇**  
Ishida Takashi

研究分野：知識情報処理、統計的学習理論  
学位：博士(工学)(早稲田大学)  
担当授業(学部)：経営統計、情報処理Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ

経済学部 准教授

# 石田 崇

## 2 研究テーマ

知識情報処理とその応用に関する研究テーマに関心を持って取り組んでいます。現在、世の中は多種多様な大量の情報で溢れかえっています。それらの情報を適切に処理しその背後に隠された構造や規則を発見して有益な知識を獲得することは、将来の予測や意思決定に役立てる上で大変重要な技術です。知識情報処理の諸問題を扱うときには、情報がもつ性質の本質的な部分を見抜き、それを主に確率や統計をベースとした数理モデルを使って表現します。機械学習やパターン認識、情報検索、データマイニングといった知識情報処理の諸技術は経営学や経済学も含め、情報を扱う多岐にわたる現実問題の解決のために役立てられています。

担当科目は経営統計と情報処理Ⅰ・Ⅱです。経営統計では統計学の基本的な考え方をしっかりと身につけた上で、実際にコンピュータを使ってデータの分析ができるようになること、情報処理Ⅰ・Ⅱではより高度な情報処理を行うための基本的なスキルとしてプログラミング言語を身につけることを目的としています。



## 3 研究テーマを選んだきっかけ

大学での研究室選びの時には正直なところ強くこれをやりたいと思う分野はありませんでした。情報関係ならなんとなく将来の進路の幅も広そうだと思って研究室を選んだように記憶しています。配属された研究室では情報理論という分野の情報源符号化と呼ばれるテーマに取り組みました。ここでは情報の構造をモデル化してデータを圧縮するための効率的なアルゴリズムを開発することが目的でした。その課題に取り組む中で、情報を題材として複雑な現象から問題解決に必要なエッセンスを取り出してシンプルにモデル化すること、そのモデル上で最適な答えを導くこと、その答えを現実問題にフィードバックして実際の問題解決をするということに興味をひかれるようになりました。特に情報理論は数学的な定式化の美しさと実問題への高い応用性を兼ね備えているのも魅力的な点だったと思います。

## 4 ゼミの活動内容

ゼミでは2年生～4年生までの間を通じてプログラミング言語とデータ処理の手法をコンピュータ実習を通して学習していきます。3年生になってからは各自でテーマを設定して卒業研究に取り組みます。特に経済・経営に関連したテーマに限定せず、データ分析を主体として自分が興味のある題材を自由に選んでいます。それぞれ個人の趣味や地元に関連するもの、身近な疑問や就職を見すえたテーマを設定することが多いようです。卒研では従来研究や関連研究を十分に調査して多くの文献に目を通し、それらの中での自分のテーマの位置づけを明確にした上でオリジナリティのある研究になるように取り組んでいます。また、教員側から一方的に教えたり指導するということではなく、一緒に考え教え合いながら議論を進めることでお互いに良い刺激を与えられる関係になることを意識しています。

ゼミ生の就職先は情報処理・情報サービス、教育人材、不動産、製造、金融、市役所、進学などが挙げられます。

# 「社会の『不思議』に注目しよう」

## 1 プロフィール

私は熊本県熊本市の出身ですが、所謂転勤族の家庭に生まれたため、宮城県、神奈川県、東京都を転々としてきました。現在は埼玉県に在住し、高崎まで通勤しています。私にとっては高崎線車内と高崎駅は住まいの一部のようなものです。

学生生活は、学部時代は早稲田大学第一文学部、大学院時代は東京大学の社会学研究科で過ごし、一貫して社会学を学びました。幼いころから文学をはじめとする様々な文化・芸術が好きだったこともあり、実は大学入学当初はフランス文学を専攻しようと考えていました。しかし大学という新しい環境に身を置くことで未知の世界に触れたいという気持ちが高まり、社会学という学問を選択した次第です。

私自身は所謂マンモス大学の出身ですが、本学に赴任する前に本学とよく似た公立大である都留文科大学で非常勤講師として勤務した経験があり、そこで規模の小さな大学だからこそその魅力、すなわち和気あいあいとした雰囲気やコミュニケーションのしやすい環境等を知りました。それもある、本学でも楽しく仕事をさせてもらっています。



**友岡 邦之**  
Tomooka Kuniyuki

研究分野：社会学、文化政策  
研究  
学位：博士(社会学)(東京大学)  
担当授業(学部)：文化政策論、博物館実習Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ

# 友岡 邦之

地域政策学部 教授

## 3 研究テーマを選んだきっかけ

プロフィールに書いたような事情で社会学という学問を選んだ私ですが、それでも、文化や芸術に関わる研究をしたいと考えていました。そこで目をつけたのが「文化政策」という領域です。文化や芸術を支えるための政策については、私が研究者を志した当時はまだ一部の経済学者が注目し始めた程度で、社会学ではほとんど見向きもされていませんでした。しかし私は、「文化政策」とは非常に面白い、あるいは奇妙な領域だと思っていました。なぜなら、「文化」や「芸術」はルールに縛られない自由な想像力がこそカギを握っているのに対して、「政策」とは基本的にルールを作って誘導や規制を行う、すなわち「縛り」を与えるものだからです。したがって文化政策の領域には必ず矛盾や軋轢が生まれるはずなのですが、同時に文化・芸術活動が盛んなことで知られるフランスなどは、文化政策が非常に発達しているのです。こうした矛盾した領域にこそ社会を支える仕組みの本質が見出せるのではないかと思います。研究テーマとして文化政策を選んだ次第です。

## 2 担当科目・研究テーマ

担当科目は「文化政策論」と「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」で、文化政策、および地域文化活動の振興を主要な研究テーマとしています。

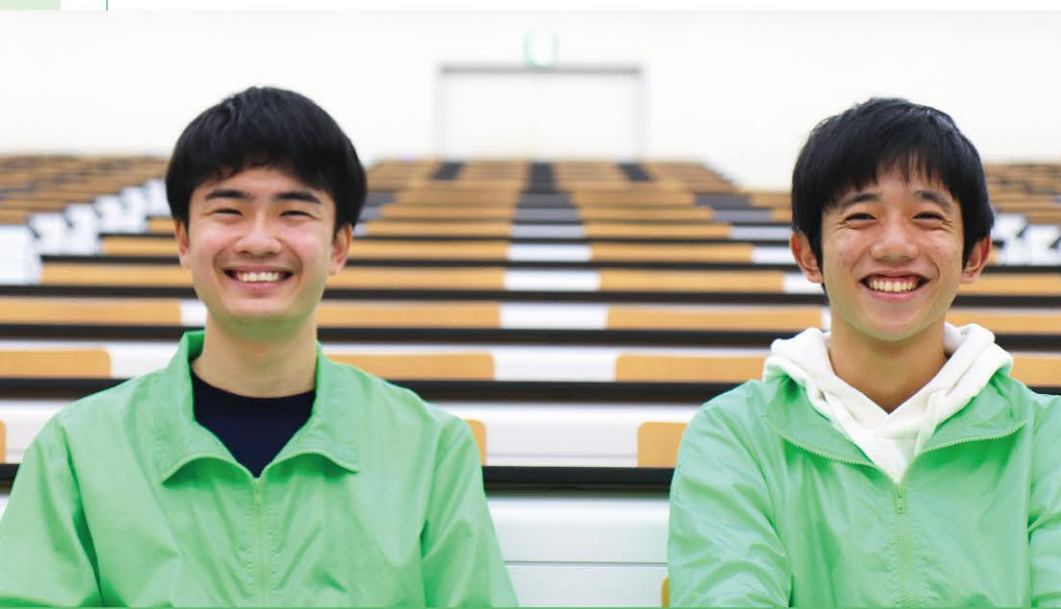


## 4 ゼミ活動・卒業生の進路など

私のゼミでは文章表現能力の向上を重視していて、卒業論文だけでなく、3年次でも自身で研究テーマを選んで進級論文を執筆してもらっています。これは、説得力のある文章を書く能力を身につけることこそが、文系大学生が卒業後に活躍する際に最も役に立つ、そして最も普遍的で応用可能性のある武器だと私が考えているためです。同時に私は、地域政策学部所属する研究者として群馬県内をはじめとするさまざまな地域での社会活動に、研究を兼ねて参加させていただいているので、そうした活動に関心のある学生には、積極的に参加を促しています。

卒業生の進路は、地域政策学部全般の傾向同様に地方公務員が最も多く、次いで地方銀行員が挙げられますが、他にも多種多様な業界に進出しています。そんな中で友岡ゼミらしい進路を紹介するなら、新聞記者、美術館職員、群馬交響楽団事務局職員、大学職員、大学院進学などが挙げられるでしょうか。しかし実のところ、仕事だけでなく趣味や社会活動も重視して生活全体のゆたかさを追求しているのが、友岡ゼミ卒業生の特徴ではないかと私は考えています。卒業後も音楽活動などを熱心に行っている者が多いことが、私の自慢です。

# 学生クローズアップ



販売甲子園 実行委員長 地域政策学部3年 **小林 弘昌**  
販売甲子園 副実行委員長 地域政策学部2年 **山越 慧悟**



(写真は例年の様子)

## 1 販売甲子園とはどのような組織ですか

販売甲子園とは、正式名称は「熱血!高校生 販売甲子園」実行委員会といい、「主役は高校生 舞台は街なか」を指針として地域をフィールドに活動する高崎経済大学の学生で構成される学生団体です。私たちは毎年11月に開催される大会「熱血!高校生販売甲子園」の運営を担っており、その成功へ向けて活動しています。高校生は大会当日へ向けて商品企画や販売戦略を立てます。販売甲子園はそのサポートをしています。また、高校生×大学生×地域の架け橋となる役割も果たしています。

## 2 販売甲子園に入ろうと思ったきっかけは何ですか

私たちが販売甲子園に入ったきっかけは、高校1年生の時に熱血!高校生 販売甲子園に出場してその印象が強く残っていたからです。自分自身がコミュニケーション能力や主体的に考える力を出場した際に伸ばすことが出来、大学生の視点からこのイベントはどう映るのか気になったのもきっかけの一つです。実際に入ると、先輩方の企画力・コミュニケーション能力・主体性などに驚かされたのを覚えています。

## 3 高校生の時見た高経大生の印象はどうでしたか

優しく話しやすい方たちだと感じました。当時、自分自身が周りに先輩しかいなかったこともあり、消極的になってしまっていたのですが積極的に意見が湧いたりするようにしてくださったことを覚えています。また、的確な発言や意見が分かれた際に折衷案を提示してまとめる様子を見て尊敬できる人たちだと思いました。そして、高校生に対して最大限の気遣いをしながらあれだけの規模の大会を進行するのは凄いことだと感じました。

## 4 高校生・高経大生へメッセージ

(山越)販売甲子園に限らず何か打ち込めるものを見つけてほしいなと思っています。それは学生団体の活動・部活動・アルバイト・サークル・遊び、何でも良いと思います。大学に入って学業に力を注ぐことはベースとして重要ですが、学業以外に打ち込めるものがあると学生生活がどんどん充実していくと感じています。

大学生生活は多額な自分への投資です。支えてくれる多くの人に感謝をして時間を大切に、自分らしく学んでいただければと思います。僕も頑張ります!

(小林)販売甲子園は様々なキッカケになる場だと思います。それは高校生として出場することにも実行委員会として活動することにも言えることです。高校生で高経大に進学を考えている方はぜひ私たちと活動してみませんか。きっと新しい挑戦ができる場所になると思います。高経大生の皆さんは、販売甲子園に限らず様々な活動を通して大学や高崎をともに盛り上げていきましょう!

## 熱血!高校生 販売甲子園とは・・・

販売甲子園とは、高校生が1から開発した自慢の商品を高崎市の街なかで販売して、「売上・利益・接客・アイデア」によって優勝を競う商業祭です。販売甲子園は参加する高校生、大会を運営する大学生の双方が大きく成長できる場だと思っています。高校生は普段の高校生活とは一味違った非日常の学びを体験できます。また、大学生は高校生とともに学びながらリーダーとしてのスキルを得ることが出来ます。そして地域の皆様との協力によって「地域」というものを再認識し、体験的な学びを得ることが出来ます。



# 留学体験記

留学先/オーストラリア(ラ・トロブ大学:LTU) 留学期間/2020年2月~3月(5週間)

## あらゆる発見や刺激を得ることができた5週間!

私はラ・トロブ大学のプログラムに参加しました。5週間という短い期間ではありましたが、非常に有意義な時間を過ごすことができました。英語に加え、オーストラリアの文化や生活環境に触れる機会が多かったため、あらゆる発見や刺激を得ることができ、新たな知識や価値観を形成することに繋がったと感じています。

英語学習においては、日本よりも能動的な授業でした。基本的には4週目に行われるディスカッションテストに向けての学習と練習、そして5週目に提出するレポートの作成に向けて、レポートの書き方やフォーマルな文の作成についての学習と練習を行っていました。ディスカッションは特に苦手意識が強かったのですが、何を話すべきなのか、どのように話を回していくかを教えてもらい、実践を重ねることで、テストでは15分間のディスカッションを4度もこなすことができました。レポート作成では、地元で学生と留学生にインタビューを行い、その結果をもとに考察するというものでした。英語で直接インタビューをすることは初めてで、非常に緊張して、断られることもありましたが、今では良い経験ができたと考えています。授業が始まる前は、英語を勉強するのだと思っていましたが、実際はそれだけではなく、英語を使って大学生活に必要な勉強知識を得るという授業が多かったです。その中で印象に残っているのは、「note taking」と「critical thinking」でした。note takingは、聞いた話の内容の大事な部分だけをメモするというもので、critical thinkingは様々な観点から深く考えるということだと思います。どちらも大学や仕事で必要不可欠な能力であり、積極的に授業に取り入れられていました。英語で聞いて、書いて、考えて、話すというのは非常に難しいことでしたが、何度も練習できる環境が整っていて、この研修

に参加する以前より力がついたら実感しています。

オーストラリアの文化や生活環境についての気づきは、ホームステイ先や休日の観光の中で発見することが多かったです。最も驚き、私の価値観を変えたこととは、日本とは比べ物にならないほど様々な国の人が一緒に生活しているということです。オーストラリアは移民の国であるということは知っていましたが、ここがどの国か分からなくなるほど様々な国の人がおり、世界中のお店が並んでいる街があるとは想像していませんでした。そして、どこの国の人であるかを気にせず、だれにでも平等に接する人びとで溢っていました。私が持っていた他の国々に対するイメージは大きく変わり、人を国で判断するのではなく、その人自身を見なくては行けないと、強く反省する機会にもなりました。また、私のホストファミリーはインドゥー教徒でベジタリアンだったため、お祈りする習慣や食べることができないものなど、これまで触れたことのない宗教や考えに関する知識と興味を持ちました。様々な国の人が生活するオーストラリアでは様々な宗教の人が暮らしていて、学校や街にお祈りする部屋があり、レストランのメニューには必ず「ビーガン」の文字や「印」がみられました。ほかにも交通の仕組みや環境に対する意識など、日本との違いを発見することができました。

今回の研修は、日常的に英語に囲まれ、実際に異なる文化や環境に触れることができたということが、これまでの英語学習とは異なる点であり、最も自分に変化をもたらしてくれた点でした。同じクラスで学習した留学生や学習をサポートしてくれた先生、ホストファミリーと過ごした5週間は非常に有意義で、この経験を忘れず、さらに学習に努めていきたいと考えようになりました。



地域政策学部 2年 加藤 倭花

## オーストラリアでの1日



ナイトマーケット。一緒に留学した学生と楽しい思い出ができました。



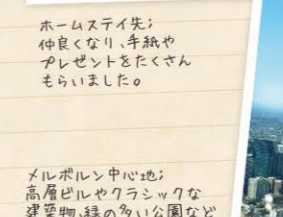
ホームステイ先。仲良くなり、手紙やプレゼントをたくさんもらいました。



グレートオーシャンロード。とても美しく感動したので今度は家族と訪れたいです。



コアラ。オーストラリアといえばコアラが思い浮かぶので実際に会いに行きました。



メルボルン中心地。高層ビルやクラシックな建築物、緑の多い公園など魅力がたくさんありました。



家周辺。中心地とは異なり、ホームステイ先や大学の近くは静かで落ち着いた町でした。

# 研究者から見た コロナ禍の現在

世界を震撼させた新型コロナウイルスは、私たちの日常を大きく見つめ直す契機を与えています。

日々の暮らしや労働、あるいは経済、政治、教育などが、  
コロナ禍においてどのような状況にあるとすれば、何が考えられるのでしょうか。

この経験の先に展望があるとすれば、何が考えられるのでしょうか。

本特集では、本学の教員がそれぞれの専門的見地からこの課題に迫ります。

今回は、人文地理学、国際関係論、経営学の3つの研究分野から解説していただきます。

## 人々の移動から見たコロナ禍の現状と今後の働き方

地域政策学部地域政策学科

佐藤 英人 教授

研究分野：都市地理学、経済地理学、地理情報システム  
担当授業(学部)：地域政策学入門、都市地理学、現代の都市問題、地理学、  
基礎演習、演習I・II

2020年2月、中国武漢市に端を発したCOVID-19の感染拡大が、世界的な猛威を振るっています。日本でも2020年10月2日現在、死亡者数1,582名、累積感染者数84,333名が確認され、終息の兆しをみせておりません。累積感染者数の分布をみると、人口が集中する大都市圏にとどまらず、北海道や沖縄県などの地方圏でも多くの感染者を出しています。ビジネスや旅行で都道府県を跨ぐ移動が、感染拡大に拍車をかけているようです。ヒト・モノ・カネ・情報が地域間を絶え間なく往来する結びつきのことを、私の専門分野である人文地理学では、地域間結合または地域の結節性と呼びます。改めて分布を見てみると、東京を基軸とした地域間結合の強弱と累積感染者数の分布が、概ね合致していることに気づかされます。

今般のコロナ禍で最も厄介なことは、無発症であっても保菌者であれば、他者に感染させてしまうことです。そのため、3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けることは論を俟ちません。コロナ禍後も当面の間は、この新しい生活様式を意識した活動が続くことでしょう。

「3密」を避ける働き方として注目されているのがテレワークです。テレワークは導入できる業種業態こそ限られますが、使い方によってはとても便利な働き方と言えます。情報技術の発達によって私

たちは、いつでも、どこでも、だれとでも自由にコミュニケーションを図れるようになりました。大都市圏のみならず、地方圏にもテレワークが普及すれば、たとえば、これから就職を目指す若い皆さんが、卒業後、ゆかりの薄い大都市圏で就職せずとも、ご自身の地元で職を求めることができるはずです。

もちろん、テレワークは万能ではありません。私も生まれてはじめて自宅から遠隔授業を経験しましたが、やはり対面授業の方が学生の皆さんの表情や反応、教室の雰囲気や直に伝わって、臨場感が沸きます。遠隔授業は画像と音声だけで血の通った意思疎通とは言い難いのも事実です。情報技術が発達してテレコミュニケーションの機会が増えるほど、逆に対面接触の重要性が高まるという「情報化のパラドックス」を実感しました。

コロナ禍によってテレワークの利点と欠点を理解できたことは、思いがけない副産物と言うべきでしょうか。最近ではコロナ禍以外にも地震や台風などの自然災害に見舞われています。ある特定の場所にヒト・モノ・カネ・情報が集中すると、被害が拡大したり、復旧・復興が遅滞したりします。地方創生や地域活性化の議論とともに、より安全な地域をいかに創造していくべきか、いまこそ考える時節なのかも知れません。

## アメリカ大統領選にみるコロナ禍のリーダーシップ

経済学部国際学科

三牧 聖子 准教授

研究分野：国際関係論、外交史、平和研究、アメリカ論  
担当授業(学部)：Introductory International Relations、現代アメリカ論、  
平和学、基礎演習、演習I・II

11月3日に行われたアメリカ大統領選で、現職の共和党ドナルド・トランプ大統領は、民主党のジョー・バイデン候補に敗北し、再選に失敗した。敗因は複合的だが、命を軽視するその新型コロナ対策が人々の心の離反を招いたことは否定できない。

トランプ大統領は、マスクが持つ「病気」「脆弱さ」をいったイメージと結び付けられることを恐れ、「男らしさ」「強さ」をアピールするためにマスクの着用を拒み続けた。政権に新型コロナウイルス対策を助言する国立アレルギー感染症研究所のアンソニー・ファウチ所長がマスクの有効性を主張し、早期の経済再開に慎重な姿勢をとると、解雇をちらつかせて痛烈に批判した。夏には、新型コロナウイルス対策顧問に、保守系TV番組で新型コロナについて「メディアは騒ぎ過ぎだ」と批判してきたスコット・アトラス医師を新たに登用した。同医師は、集団免疫の提唱者でもある。集団免疫とは、若者や健康な人に自由に活動させ、経済活動の規制による経済の落ち込みを抑えながら、免疫を持つ人を増やすことを狙うものだが、成立までに多数の犠牲者を出す恐れがあるとして専門家から懸念の声があがっているやり方だ。トランプ大統領は、アトラス医師を登用し、経済再開を急ぎ、てっとり早くそれを裏付ける「科学的根拠」を取り付けようとしたとみられている。

10月にはとうとう自らも新型コロナに感染した。医療費が法外に高い米国にあつては、とても庶民にはアクセスが許されない高価な薬を大量に投入し、回復した後は、選挙戦での遅れを取り戻すべく、何度も対面式の大規模集会を行った。スタンフォード大学の経済学者らの試算によると、トランプ大統領が行った大規模集会によって新型コロナに感染した人は3万人にのぼるといふ。新型コロナを怖がるものなど臆病者だとして、科学者の助言を聞かずにマスクの着用を拒み、対面式の集会をやり続ける、他者の生命や安全を配慮せず、政治目的を追求するこうした姿勢は、有害な「男らしさ」の最たるものだろう。

生命を軽視したトランプ大統領の言動に惑わされ、新型コロナの危険を軽視し、感染死してしまった人々、その不十分な感染症対策ゆえに命を守ってもらえなかった人々はもうかえってこない。コロナ危機は、トランプ大統領のような、地味で堅実な仕事よりもパフォーマンスを好む政治家、政策の有効性よりも、どれだけ自身の支持率をアップさせるかで政策を選択する大衆煽動的なリーダーの能力の欠如を示すことになった。そしてトランプ大統領に対しては、国民の審判は下された。さて、日本の政治リーダーたちはどうだろうか。皆さんは今、きちんと守られていると感じているだろうか。

## 職場へのトランジションから見た コロナ禍の働き方と大学教育の変化

地域政策学部地域政策学科

若林 隆久 准教授

研究分野：経営学、経営組織論、社会ネットワーク分析  
担当授業(学部)：経営学、キャリアデザイン論、経営分析/財務諸表分析、  
基礎演習、演習I・II

大学教育から職場へのトランジション（移行）という視点から、コロナ禍の大学関係者にとってのポジティブな側面を取り上げたいと思います。結論から言えば、大学という準備期間にコロナ禍に伴う社会変動を経験でき、増大した学びの機会を活用して準備できることで、意欲を持った学生は新しい働き方への適応に有利な立場にあるのではないかとことです。

### 働き方の変化

コロナ禍により企業・職場や働き方も大きく変化しようとしています。もともと、一方でICTやAIなどの発展に伴いいわばデジタル技術によるビジネスの変革であるデジタル・トランスフォーメーション（DX）が喧伝され、もう一方で働き方改革が推し進められていたが、コロナ禍によりこれらの変化が大きく進展しました。本来の仕事場を離れてのテレワークやオンライン会議といったものが当たり前になりました。仕事の進め方・ルールや働く環境にも変化が生じ、既存のやり方を見直す必要が出てきました。企業に対して変革が求められる一方で、個人に対しては仕事におけるニューノーマルに適應することが求められています。

### 大学教育の変化

学生を育て職場へと送り出す大学教育や学びの環境にはどのような変化が生じているのでしょうか。コロナ禍による苦難もある一方で、下記のような良い変化も見られます。

ひとつは、学生や教職員の意識の変化です。学びの機会が閉ざされかねない状況で、本当に学ぶべきことや学びたいことは何か、そのために何が必要かを切実に考えました。また、大きな危機や社会変動に伴い、現実感のある真正な問題意識を持って学べるようになりました。私の担当する経営分析の授業の例を出せば、今回の学費問題や大学からの説明不足といった問題と絡めることで、大学の収支・経営や説明責任を自分ごとでもある現実の問題として捉えられます。

もうひとつは、提供される学びの機会や質の向上です。強制的なオンライン対応によって得られた経験を活かして、より高度な学びへの取り組みも増えています。また、オンライン化の進展により、社会全体から場所を問わない学びの場が提供されるようになりました。

### 大学教育から職場へのトランジション

これらの変化を踏まえると現在の大学生は新しい働き方への適応に有利な立場にあるように思えます。コロナ禍により多忙化した職場においては、既存の経験に囚われ新しい働き方に対応できない面もあります。大学においてコロナ禍への適応を経験し、意欲や問題意識を持って学んでいくフレッシュな学生には、新たな社会での活躍が期待できます。コロナ禍をきっかけとした学びの充実がいま進んでいるところかもしれません。

# 鶴鷹祭 かくようさい

第54期体育会本部 代表幹事  
経済学部 4年 斎藤 篤志

鶴鷹祭は都留文科大学・高崎経済大学総合体育対抗戦のことであり、非常に歴史のある大会となっております。昭和48年に山梨県の公立大学である、都留文科大学の体育館落成記念として空手部を中心とした対抗戦として始まり、以降徐々に参加団体が増え、第20回大会を機に都留と高崎の文字を「鶴」と「鷹」に置き換え、「鶴鷹祭」と命名されました。

第25回大会以降、それまで行われていたオープン戦が廃止され、鶴鷹祭は両校の名誉と威信をかけて行われる真剣勝負であるというコンセプトに移り変わってきました。両学とも公立大学ということで、有名私立のように部活動に重点を置く大学ではありませんが、どの部活も総合優勝を目指して日々の練習の成果を發揮して一生懸命戦います。

また、鶴鷹祭の特徴としては、普段触れ合う機会の少ない部活同士が必死になって応援する姿を見ることができます。各競技の枠を超えて、両大学体育会が一丸となって総合優勝を目指します。現在までの総合成績は都留文科大学24勝、高崎経済大学20勝、2引き分けとなっております。しかし、都留文科大学と高崎経済大学を交互に競技会場として、今日まで数多くのドラマを生み出してきた鶴鷹祭ですが2020年度は新型コロナウイルスの影響により中止の決定を余儀なくされました。鶴鷹祭始めて以来初の4連覇を達成し勢いに乗る高崎経済大学でありましたが、本年度は5連覇をこの目で見る事ができず非常に悔しい気持ちでいっぱいです。この伝統ある鶴鷹祭を、来年度は開催できることを切に願っております。



# 三扇祭 みつおうぎさい

第63回三扇祭実行委員会 委員長  
経済学部 3年 今山 廉

今年の三扇祭は、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、YouTubeライブとZoomウェビナーを使った史上初のオンラインという形で行われました。例年4日間で開催しておりますが、今年は10月31日、11月1日がリアルタイム配信、11月2日と3日はアーカイブでの視聴可能期間としました。

第63回のテーマは「GET OVER IT」。新型コロナウイルスによる苦境を乗り越えてほしいという願いと、価値観などの違いという壁を越えて一致団結しようという思いが込められています。

群馬県内をはじめ全国各地の多くの大学が大学祭を中止とする中で、私たち三扇祭においても開催可否や規模、形態をめぐり非常に難しい判断を迫られました。私たちが大学祭を開催する目的は何なのか、大学祭を通してできることがあるのではないだろうかという思いでオンラインでの開催を決定しました。

新型コロナウイルス感染対策として、準備期間を含め三密を避ける・換気をする・こまめなアルコール消毒といった対策を行いました。またオンライン開催ということで、キャンパスでの開催以上に著作権・プライバシーといった権利の保護にも配慮し、撮影・配信を行いました。

初めてのオンライン開催はいばらの道ではございましたが、4日間の総再生回数は1万回近くに上り、全国のたくさんの方々へ私たちに活力をお届けできたのではないかと考えております。

今回がオンライン開催になったことで、新たなことにチャレンジできる機会を得ることができ、私たち自身もよりいっそう成長することができました。また、例年以上に多くの方々にご支援をいただき、人と人とのつながりの重要性を改めて実感しました。最後になりますが、三扇祭の開催にご尽力いただいた皆さま、そして最後までご視聴くださった全国の皆さま本当にありがとうございました。来年以降のさらに成長した三扇祭にご期待いただければと存じます。



# たか けい INFORMATION



## キャリア支援チームからのお知らせ

### OB・OGによる就職相談会と模擬面接会が開催されました

毎年恒例の「OB・OGによる就職相談会」と「模擬面接会」が開催されました。現役の学生たちは、幅広い年齢層かつ多様な業種・職種先輩方から、たくさんのヒントやアドバイス、厳しくも愛情のある言葉をいただき、今後の就職活動や社会人生活に向けた有益な情報収集の場となりました。

#### OB・OGによる就職相談会

11月7日(土)にオンラインにて「OB・OGによる就職相談会in高崎」を開催しました。初めに、本学卒業生で、株式会社ジェイアール東日本都市開発 取締役経営企画部経営企画室長 楠本祐二氏より「これから社会人になる皆様へ」と題し、ご講演いただきました。講演後は、全国からお集まりいただいた36名の同窓生が各グループに分かれて、「地域別相談会」と「業界・企業別相談会」を行って下さり、学生からの様々な質問に応じていただきました。



#### 模擬面接会

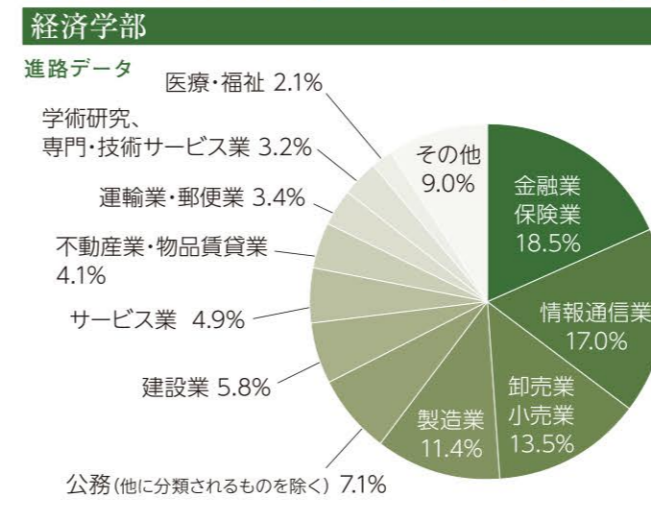
12月5日(土)に本学7号館において、本学OB・OGの企業経営者や人事担当者を招き、「模擬面接会」を開催しました。社会の第一線で活躍する本学の卒業生を模擬面接官として、希望する企業の最終面接に臨むという形で学生たちは面接を受けました。参加した学生からは「緊張感がある中で、具体的なアドバイスをもらえ、本番の想像ができた。フィードバックの時間が有意義だった。」といった声もあがり、大変貴重な1日となりました。



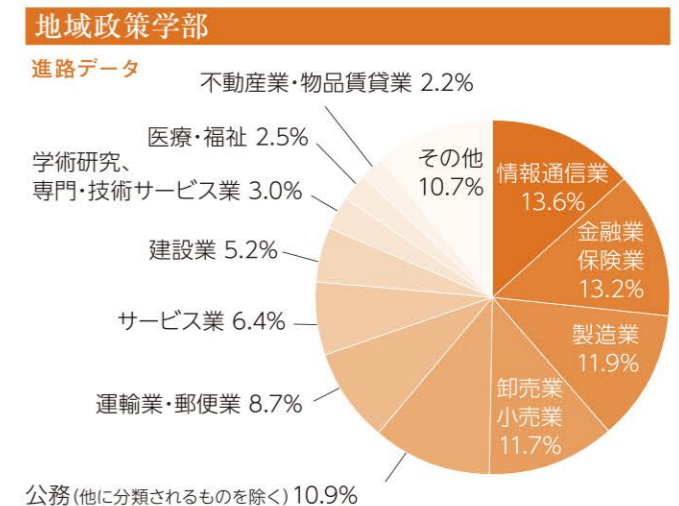
### 内定者報告会

12月9日(水)にオンラインにて「内定者報告会」を開催しました。内定者報告会は、就職活動を終えた4年生が、これから就職活動を迎える学生に対し、内定先の説明や自身の体験談の報告、アドバイスや質問対応を行うイベントです。当日は40名近い4年生がグループに分かれ、集まった学生に対して新鮮な情報を提供してくれました。就職活動に向けて学生たちの背中を大きく押してくれる機会となったこと間違いありません。

## 学部ごとの進路状況 (2019年度卒業生実績)



主な就職先 ..... 2019年度卒業生実績  
東日本旅客鉄道(株)/(株)群馬銀行/(株)七十七銀行/日本年金機構/北海道庁/トヨタカローラ高崎(株)/(株)八十二銀行/中央労働金庫/全国共済農業協同組合連合会群馬県本部/野村證券(株)/東北電力(株) 他



主な就職先 ..... 2019年度卒業生実績  
東日本旅客鉄道(株)/(株)群馬銀行/(株)NTT東日本-関信越/岩手県庁/高崎市役所/桐生信用金庫/中央労働金庫/日本年金機構/高崎信用金庫/群馬セキスイハイム(株)/(株)第四北越フィナンシャルグループ/(株)八十二銀行 他



## 後援会からのお知らせ

### 令和2年度の活動トピックス

#### ・「文化サークル棟」完成

令和元年度から建設を進めてきました「文化サークル棟」が竣工し、昨年9月30日に落成式を行いました。詳細はホームページにてご覧ください。また、完成に際し、部室エアコン、棟内共用備品、外構工事の一部を寄附しました。



#### ・「高崎経済大学コロナ禍学生緊急支援特別基金」への寄附

本年度中止となった夏季海外留学助成、バス運行経費などの上半期未執行予算1,000万円を学生の経済支援を目的に造成された標記基金へ寄附しました。

#### ・「学生応援チケット」を配布

コロナ禍における学生の生活支援を行うため、生協での食事・買物に利用できる一人4,000円分の「学生応援チケット」を10月に配布しました。



#### ・「就職支援の強化」

コロナ禍における就職支援体制の強化のため、例年行っている就職支援に加え、キャリアアドバイザーの増員やオンラインによる本学合同企業説明会開催のための費用助成を行いました。

### TOEIC及び外国語検定試験成績優秀者表彰

TOEIC公開テストで700点以上を獲得した学生及び外国語検定試験(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル及びイタリア語)を受検して優秀な成績を収めた学生に表彰状と記念品を贈呈します。

### 高経会館の利用について

大学より徒歩5分につく宿泊・研修施設です。宿泊室は全て個室となっており、学生だけではなく、保護者や同窓生もご利用いただけます。宿泊予約する場合は下記後援会事務局まで電話にてお申込みください。

### 令和3年度の支部総会について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度の支部総会はすべて中止しましたが、令和3年度の支部総会の開催については、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮の上、7月中旬にホームページ及び保護者宛ての通知にてお知らせする予定です。

●お問い合わせ＝後援会事務局：電話 027-344-7902

## 同窓会からのお知らせ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同窓会支部総会を中止とさせていただきます。来年度につきましては、感染状況等を考慮して検討していく予定であります。詳細が決まりましたら同窓会ホームページでお知らせさせていただきます。

●お問い合わせ＝同窓会事務局(学生支援チーム)：電話027-329-6693  
同窓会ホームページ：<https://www.takakedai-doso.gr.jp/>

## 保健室・学生サポートルームからのお知らせ

### 健康診断について

定期健康診断を以下の日程で実施します。全日程、予約制です。詳しい予約方法については、ホームページをご覧ください。健康診断の結果は、就職活動・実習・大会参加・留学関係・アルバイト関係等、様々な場面が必要となりますので、必ず受けてください。

月日	受付時間	場所	備考
3月30日(火)～ 4月 4日(日)	9時～11時30分 13時～16時30分 (10分単位での予約)	7号館 2階	予約受付開始： 3月15日10時から 健診に要する時間： 約30分
4月 7日(水)～ 10日(土)			

### 学生相談について

学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。臨床心理士等が、心の不安、人間関係に関するご悩みなどに対して、専門的な視点から助言をします。保護者からのご相談もお受けしています。学生と一緒に、もしくは保護者の方のみでも構いません。個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守しますので、安心して相談してください。



### 障害学生支援について

障害等の理由により、修学上の支援が必要な学生に対し様々な支援を行っています。支援を希望する方は、学生サポートルームに相談してください。本人の状況を考慮し、ノートテイクや座席の指定、課題の提出方法の変更など、対応方法を検討します。

●お問い合わせ＝

保健室：電話 027-343-5418 メールアドレス hoken@tcue.ac.jp

教育グループ学生サポートルーム：電話 027-344-7502

メールアドレス supportroom@tcue.ac.jp

## 学生ボランティア活動支援室からのお知らせ

### 令和2年度 活動実績

●学生ボランティア登録数 250人(令和3年1月現在)

●令和2年度 派遣人数 77人(令和3年1月現在)

●主な派遣先

・高崎市内小・中学校新型コロナウイルス感染防止対策放課後

消毒ボランティア(高崎市立六郷小学校ほか3校)

・放課後学習会の学習支援(高崎市立北部小学校ほか1校)

・NPO法人学習塾HOPE(学習支援)など

「ボランティアをやってみたい」「興味はあるけど、どうやって探したらいいかわからない」などボランティアに関する様々な相談に乗っています。ボランティア活動に興味のある方は学生ボランティア活動支援室まで!

●お問い合わせ＝教育グループ学生ボランティア活動支援室：

電話 027-329-6714 メールアドレス volunteer@tcue.ac.jp



(高崎市立六郷小学校から感謝状をいただきました!)

